



第19回冬季農産物物品評会

豊橋白慢の農産物が並ぶ

営農部は2月17日、豊橋市東七根町のあぐりパーク食彩村で第19回冬季農産物物品評会を開きました。キヤベツ、イチゴ、トマトなど市内で栽培されている農産物と花き類、25品目575点が出品されました。

審査は農業改良普及課、県農政課、市役所、経済連、卸売市場、コープあいちから16人が担当。品質、外観、揃いの3点を重点に、品目によっては糖度、食感などの内容審査を合わせて合議制で行い入賞者を決定しました。審査の結果、愛知県知事賞はキヤベツを出品した坂柳享史さんが受賞しました。

19日には同会場でも夏季、冬季農産物の合同褒賞式が行われました。東三河農林水産事務所農業改良普及課の光部博雄課長は「出品されたものはどれもレベルが高く審査するのに大変苦労しました。豊橋の農産物はどこに出しても自慢できるものばかりです。さらなる農産物の発展と技術向上に期待します」と審査講評を述べました。

入賞者は以下のとおりです。



出品された農産物を吟味する審査員ら

入賞者 特選25点

賞名	品名	事業所	入賞者(敬称略)
愛知県知事賞	キヤベツ	第三事業所	坂柳 享史
豊橋市長賞	いちご	第六事業所	加藤喜代子
豊橋市議会議長賞	ミニトマト	第三事業所	高柳 洋文
愛知県農業協同組合中央会長賞	なす	第三事業所	中村 敏秀
愛知県経済農業協同組合連合会長賞	トマト	第五事業所	渡辺 里始
東京青果(株)社長賞	スティックサラダえんどう	第四事業所	佐藤 哲司
浜松青果(株)社長賞	ブロッコリー	第一事業所	金子 文男
武生青果(株)社長賞	トマト	第四事業所	深井 利修
東京荏原青果(株)社長賞	ブルームレススティックえんどう	第三事業所	船井 辰哉
名果(株)社長賞	イエローミニトマト	第三事業所	西崎 信義
J A 全農青果センター(株)社長賞	ミニトマト	第四事業所	鈴木 勝英
東果大阪(株)社長賞	はくさい	第四事業所	中島 由盛
名古屋青果(株)社長賞	サニーレタス	第四事業所	山田 孝夫
長野県連合青果(株)社長賞	大葉	第三事業所	中村 健吾
(株)大田花き社長賞	デルフイニユーム	第五事業所	本多 敏政
札幌花き園芸(株)社長賞	バラ	第四事業所	小野田 稔久
丸果石川中央青果(株)社長賞	水耕ねぎ	第四事業所	小野田 富生
東京新宿ベジフル(株)社長賞	オレンジミニトマト	第五事業所	鈴木 憲志
横浜丸中青果(株)社長賞	ラディッシュ	第五事業所	鈴木 清隆
大果大阪青果(株)社長賞	キヤベツ	第四事業所	尾崎 雅俊
(株)豊橋中央青果市場社長賞	いちご	第六事業所	水谷 秀雄
東京シテイ青果(株)社長賞	グリーンシリーフ	第三事業所	松井 洋知
岐阜岐阜青果(株)社長賞	キヤベツ	第四事業所	彦坂 年亮
豊橋農業協同組合長賞	サマースイートピー	第一事業所	松井 一朗
豊橋農業協同組合長賞	小松菜	第二事業所	鈴木 和良

第1回とよはしフラワーウォーク 薔薇を持って歩こう!!

とよはしフラワーウォーク実行委員会は2月7日、第1回フラワーウォークを行いました。これは「バラなどの花を持って出かけてほしい」とバラ部会の生産者が発案したもので、市内の園芸店や



通行人にバラを配る白井良始組合長(右)

生花店などの協力を得て今年から始めた企画。

渥美線新豊橋駅前とココラアベニユー2階デッキ、市内生花店4店で500本のバラが配られました。通行人からは思いがけないバラの配布に少し驚きながらも笑顔で受け取っていました。飲食店などのサポートショップでは当日バラを持って来店するとドリンクサービスや割引などのサービスが受けられ、バラと一緒にサポートショップが記載されたフラワーウォークハッピーマップも配られました。この日は「おでんしゃで花を贈ろう!!」も開かれ、10組20人が参加しました。おでんしゃ内で同伴者からサプライズプレゼントで花を贈られる企画で、花束をプレゼントされると車内は拍手と歓声に包まれました。

3市合同フラワーバレンタイン

バレンタインに花束を!めざせ1000スマイル

2月12日、JA豊橋は豊橋市、田原市、豊川市の3市とJA愛知みなみ、JAひまわり、花生産者でつくるパフォーマンズグループ「花男子」と共同でバレンタインデーにちなんだ企画「フラワーバレンタイン」を豊橋駅東西連絡通路で行いました。豊橋市はデルフィニウム、田原市はスプレーム、豊川市はバラがそれぞれ生産日本一。各市自慢の花をバレンタインデーに大切な女性に贈ってもらおうと先着1000人の男性にプレゼントしました。会場は照れながら花を選んで受け取る男性たちの笑顔で溢れました。



デルフィニウムを誰に渡すのかな?

デルフィニウムを選んだ高校生は「豊橋がデルフィニウムの生産日本一と知りませんでした。今は彼女がいないのでお母さんに渡します」と話しました。

水稻育苗センターオープンセレモニー 米栽培の中心となることを期待

JA豊橋は2月2日、神野新田町でJA豊橋水稻育苗センターのオープンセレモニーを行いました。地域関係者、施工業者、JA役員ら約50人が参列し、新施設の竣工を祝いました。

このたび完成した施設は、同敷地にあった既存施設の老朽化と市内の育苗施設の集約化に伴い、処理量拡大をすため増改築したものです。

白井良始組合長は「各方面の関係者のご理解、ご協力で新しい育苗センターが無事竣工することができた。携わった多くの人に改めて感謝し、この豊橋地域が東三河の米栽培の中心となるように多くの人にこの施設を利用してもらいた



最新設備の説明を聞く関係者ら

第14回フラワードリーム 夢ふくらむ、花ひらけ

東三河の花の祭典「第14回フラワードリーム」が2月20日、21日の両日、藤沢町のイトヨーカドー豊橋店で開催され



どの花にしようかしら

ました。特設会場では地元の花で作ったモニュメントのほか、東三河の花の展示生産者による即売会、フラワーアレンジ教室、コチョウランが当たる抽選会などが行われました。また特設ステージでは和太鼓やアンサンブルの演奏があり花と音楽のコラボレーションに多くの来場者が聞き入っていました。JA豊橋ではデルフィニウムをはじめ、バラ、カーネーション、スイートピー、グロリオサ、かすみ草などが出品され、会場は綺麗な切り花を買い求める人たちが賑わいました。



い」とあいさつしました。その後、オープンを祝ってテープカットを行い、建設に携わった人や関係者らに施設を公開しました。見学者からは最新の育苗施設の説明に関心を示していました。新しい育苗施設は1時間に1500箱をは種することができ、14万箱の育苗ができる東海地区最大規模の施設となりました。



すぎすきイチゴ大作戦！

青年部会が園児にイチゴの苗をプレゼント



第六事業所青年部会は2月16日、地元
の保育園にイチゴのプランター苗とパッ
ク詰めイチゴを配る「すぎすきイチゴ
大作戦！」を行いました。部会員は3班
にわかれて事業所管内にある7つの保育
園を訪問しました。

牛川保育園では園児約120人が部会
員を出迎え、プランター苗と採れたての
イチゴ「章姫」を受け取りました。「水
と肥料とみんなの愛情をたくさんあげて
おいしく育ててください」と部会員が話
すと園児たちは「はい！」と元氣よく笑
顔で返事をしました。質問コーナーでは
「イチゴはどうして赤くなるのですか」
「どうしてイチゴの実の先の方が甘くな

るのですか」などイチゴに関する質問が
園児から出され、部会員らはわかりやす
く答えました。
園児からイチゴのお返しとして歌や手
作りのメダルが部会員に贈られ、楽しい
交流の時間を過ごしました。



採れたてのイチゴを受けとる園児

みんなでかじろう次郎柿

玉川小で柿の木の粗皮削り



として次郎柿の栽培
をしています。今回
の作業で今年度の栽
培学習は終わるため

第六事業所青年部会は2月19日、石巻本町
の玉川小学校で柿の木の粗皮削り作業を教え
ました。5年生は毎年地元の農業を学ぶ一環



柿の木の粗皮を削る児童

来年度栽培を担当する4年生も一緒に作業を
行いました。

柿の木の粗皮削りはカイガラムシなどの発
生を抑える冬の時期の作業。児童は部会員か
ら作業手順を聞き、ゴーグルとマスクをつけ
て、ねじり鎌などで木の粗皮を削りました。

作業後は柿の木の引継式が行われ5年生が
1年かけてまとめた「柿の木ガイドブック」
が4年生に渡されました。5年生の小林千夏
さんは「1年間楽しく作業ができた。4年生
には、私たちよりもたくさん柿が収穫できる
ように頑張ってもらいたい」と話しました。

ガス・リフォームフェア

来て見て触って体験会

生活燃料課は2月20日、下地町にあ
るタカラスタンダード豊橋ショールーム
で「ガス・リフォームフェア」を開きま
した。家族連れなどが来場し、シヨールー



アドバイザーの説明を聞く来場者

ム店内は多くの人で賑わいました。

このフェアは生活燃料課がタカラ豊
橋ショールームの協力を得て、ガス器具
の購入や水まわりのリフォームを考えて
いる人たちに実際に見て触って商品をよ
り知ってもらおうと企画したものです。オー
ブンと同時に多くの人がショールームに
来場し、気になるガス器具やシステム
キッチン、浴室などを見てま
わりました。夫婦で来場した人
は「リフォームを考えています
が、パンフレットだけでは、わ
からないことが多いので実際に
見たいと思って来ました。アド
バイザーの説明で疑問点が解消
できて良かったです。高い買い
物だから後で後悔しないように
しっかりと確かめて検討したい
です」と話しました。

自動車整備工場が表彰される

さらに信頼される工場を目指す

JA豊橋自動車整備工場は国土交
通省中部運輸局から表彰を受けまし
た。これは中部運輸局管内にある



表彰状を手にする朝倉課長(左)

4500余りの指定工場の中から
「自動車整備事業の的確かつ健全な
運営への貢献」が評価された49の整
備工場の一つとして

表彰されたものです。自動
車課の朝倉課長は「大変名
誉な賞であり、これからも
引き続き整備技術向上に努
めるとともに、地域から信
頼される整備工場を目指し、
職員一丸となって励みた
い」と話しました。